

資料 1

大雄地区交流センターに関する 住民アンケート調査

報告書

令和 2 年 9 月

報告書作成：いわて地域づくり支援センター

目 次

1. 回答者の姿.....	1
(1) 地区.....	1
(2) ご家族.....	1
(3) 同居人数と家族構成.....	2
2. 地域活動について.....	3
(1) 地域活動について「重要だと思う」「続けてほしい」と思う活動.....	3
(2) 地区交流センターで取り組んでほしい新しい事業.....	4
(3) その他に地区交流センターで「取り組んでほしい」「できたらいいな」と思う事業....	5
3. キャッチフレーズについて.....	7
4. 将来までも安心して住みつづけられる大雄地域であるために（自由意見）.....	8

1. 回答者の姿

(1) 地区

- 回答は 301 票得られた。
- 地区別でみると、阿気 131 票、田根森 129 票で、44%、43%を占める。田村は 40 票（13%）である。

表 地区別の回答数

地区	回答数	割合
田根森	129	43%
阿気	131	44%
田村	40	13%
不明	1	0%
計	301	100%

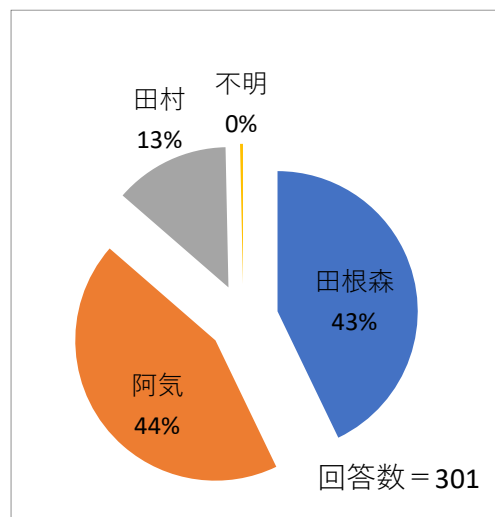


図 地区別の回答割合

(2) ご家族

- 「75 歳以上の高齢者がいる」世帯は全体の半数をしめる。
- 一方で「高校生以下の子どもがいる」世帯は 25%である。その内訳としては、それぞれ 10%前後である。

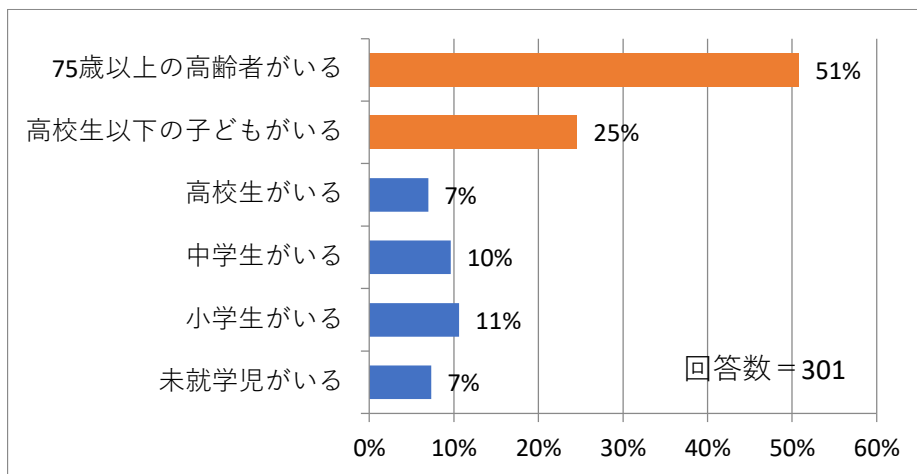


図 ご家族

(3) 同居人数と家族構成

- 単身世帯は、全体では4%を占める。
- 田村は「夫婦世帯」が38%を占めて多く、「2世代以上」は15%に留まり、世帯の規模は他の2地区と比べると少ない。

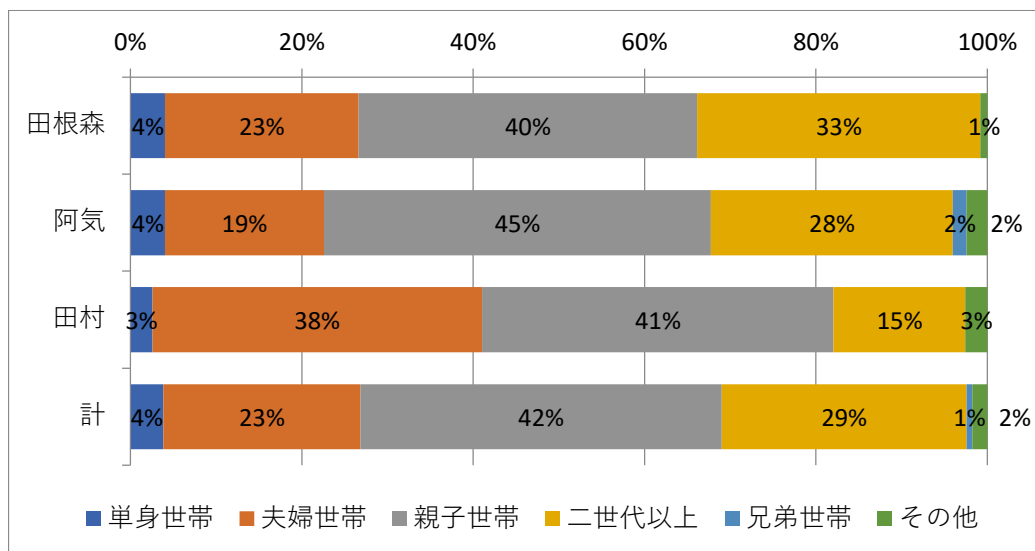


図 家族構成別の構成比

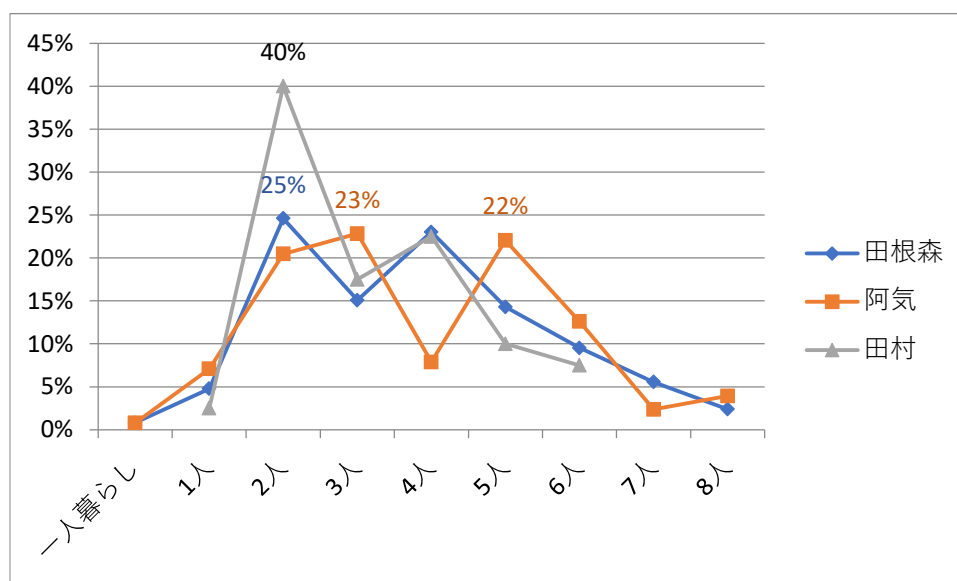


図 同居人数の構成比

2. 地域活動について

(1) 地域活動について「重要だと思う」「続けてほしい」と思う活動

- 特に「大雄サマーフェスティバル」を挙げる回答者が多く、回答者の85%が選んでいる。
- 次に、「たいゆう緑花園 (38%)」「大雄こどもフェスティバル (36%)」、「大雄芸術文化祭 (30%)」、「飛び出し注意看板・交通注意看板の設置 (30%)」が多い。
- その他としては、「大雄ホップ生ビール会」が挙げられた。

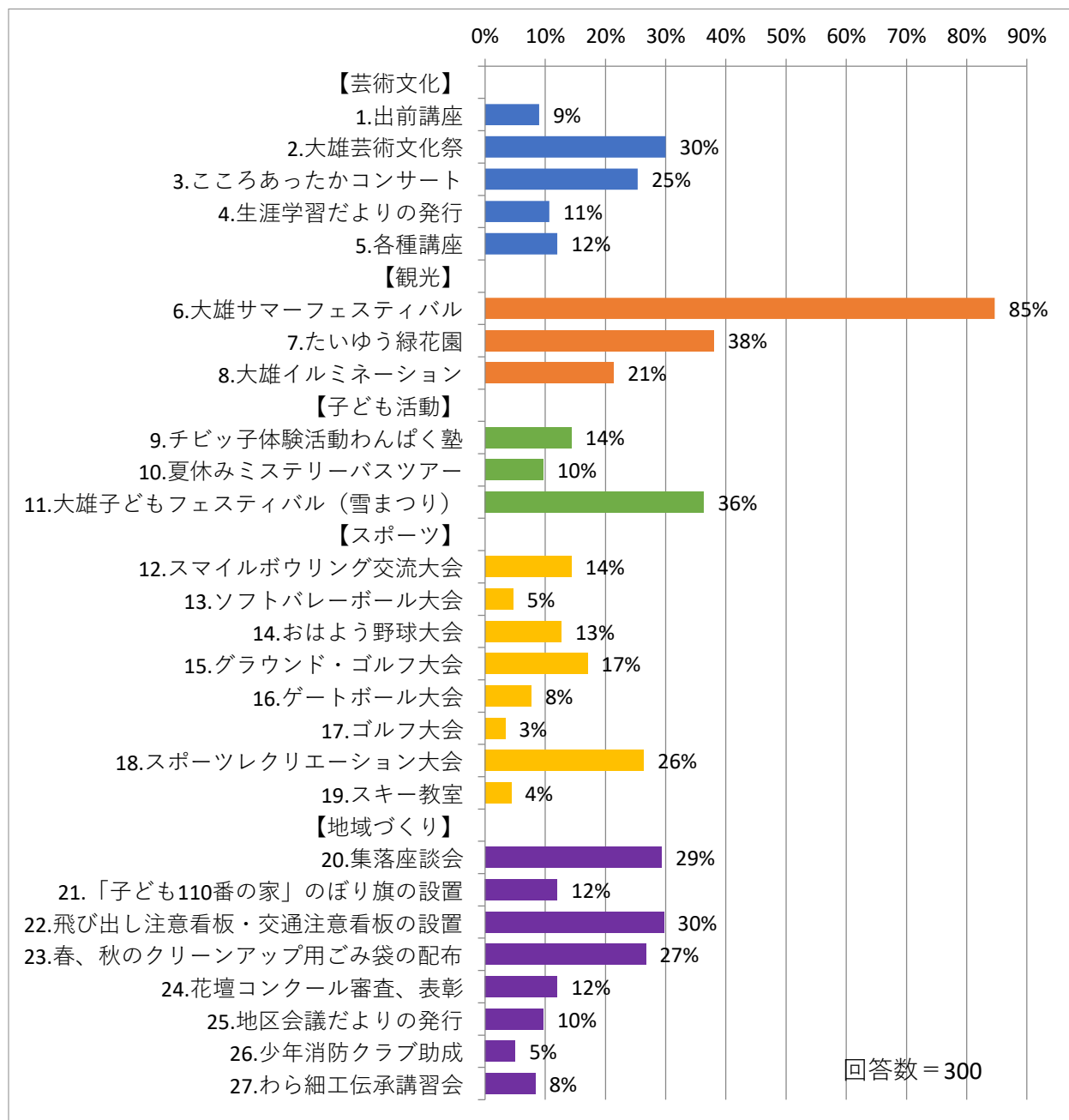


図 重要、続けてほしい地域活動

(2) 地区交流センターで取り組んでほしい新しい事業

- 「野菜などの直売所 (38%)」、「買い物、通院支援 (37%)」、「ゆとりおんの活用 (35%)」の意見が多い。

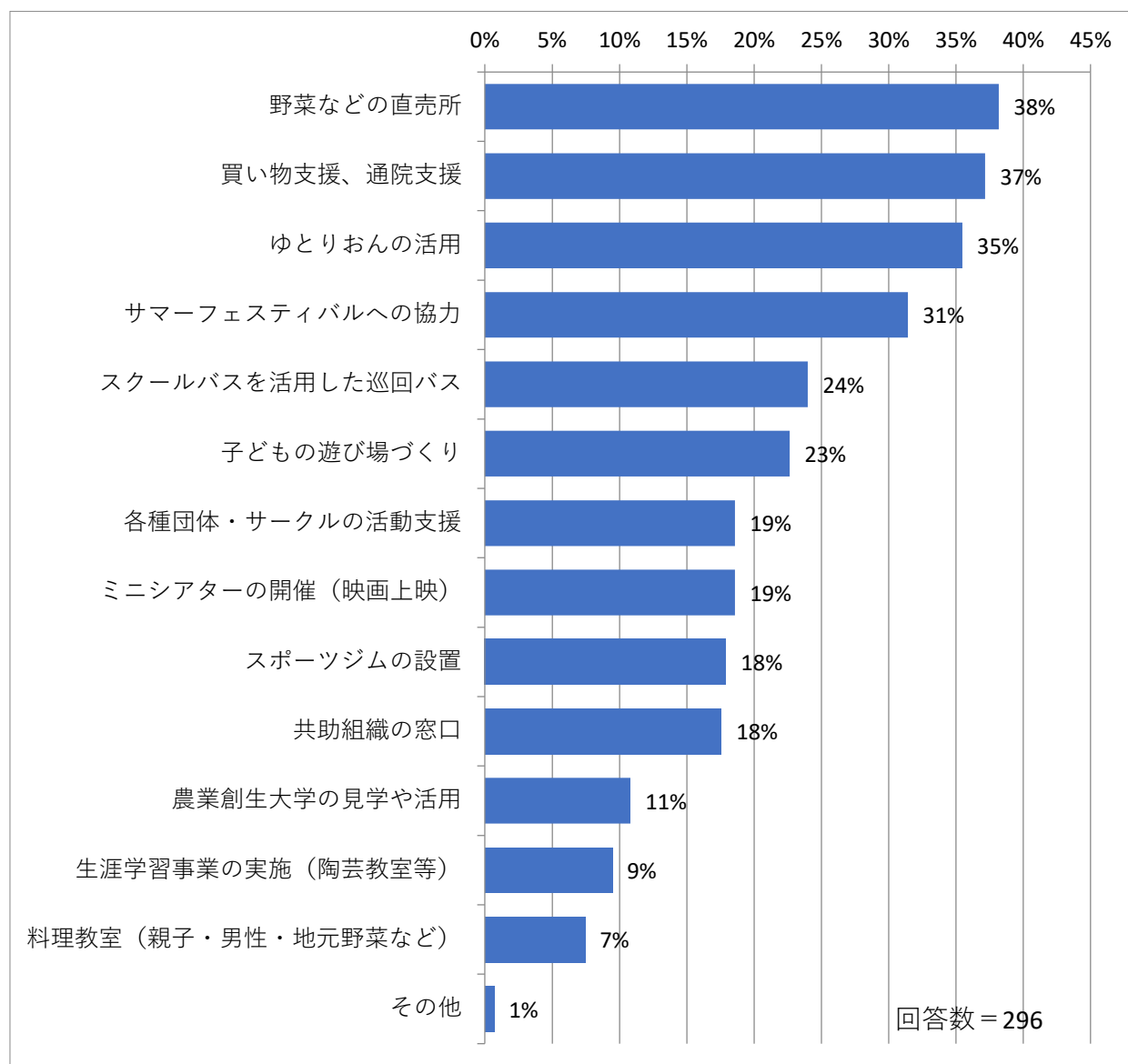


図 地区交流センターで取り組んでほしい新しい事業

(その他)

- カフェ、飲食店を作る
- ゆとりおん (ふるさとセンター2号館) の活用

（３） その他に地区交流センターで「取り組んでほしい」「できたらいいな」と思う事業

＊出された意見を分類整理して掲載

【市民活動、集落活動の推進、助け合いの仕組みづくり】

- 大雄各地区の公園などの整備が行き届くよう、横手市公共施設市民サポーター制度の周知→申請窓口になってもらえたらと思います。（田根森）
- 各地域でのレクリエーション（田根森）
- 高齢単身世帯が増え、除雪の共助組織は必要なのでそのかじ取りを（阿気）
- 住民の高齢化が進み、日常生活に支障をきたしてきている世帯が増えていると思われる。（雪の問題、ゴミ出し、草むしり、買い物など）行政だけでは解決できません。組織があれば参加したいと思っている人も多くいるはずです。もっと積極的に行政指導で組織をつくってもらいたい（地域内からは色々な事情で声をあげにくい）明日はわが身です。（阿気）
- 共助組織をつくり活動を支援する（ほかのことはやらずこれに特化してもよい）（田村）
- 地区交流センターなる建物・窓口・事務室・事務員が必要。それぞれの団体が、共助組織として集まって、会議や事業をすることは考えられない。それぞれの団体・サークルが、昼夜問わず利用できる部屋やコピー機などを低料金で使用出来る施設がほしい。（冷暖房設備はもちろんのこと）。また民間団体だけであっても、市バスの低料金での利用可能を切に望む。（もちろん利用団体の制限や使用目的の制限は必要と思うが）（田村）

【気軽に集まれる、利用できる施設】

- 気軽に行ける場所であって欲しい。雰囲気作り。（阿気）
- 昨年度まで団地センター1 階に自由に使える場所があったと思います。3 日も前に届け出が必要な会合は現在の方式でも良いが、それ以外は昨年度のようにしてほしい。（田根森）
- 友達などとちょっとコーヒーが飲めるようなカフェがあったらよいと思う時があります（田根森）
- カフェのような店（阿気）
- ゆっくりできるスペース、カフェ&図書館的な場所づくり（田村）
- 私は老人なので自分の目線で質問3の3つを選びましたが、子守をして感じたことは、屋根付きの子供の遊び場があったらいいなと思いました。（阿気）

【みんなが集まれるイベント開催】

- せっかくミニシアター施設があるのだから、有効活用するために気軽に参加できる上映会や音楽活動などの催しを市民に勧めたらよいと思う。（田根森）
- スタジアム大雄グラウンド内でサマーフェスをやる。物販は外で。（阿気）
- 農業創生大学の学祭を他大学と joint して開催するといいいのでは！メディアと協力してアピールしたら何か別の可能性が出てくるのではないかと思います。（阿気）
- 地区交流センターと、ゆとりおんの連携事業（講演会、ワークショップなど）軽食会、親子会の交流会（田村）

【生涯学習の継続と充実】

- マンネリ化とならないよう講座、教室などを更新しながら事業化してほしい（田根森）
- 自然に恵まれた土地で豊かに暮らすため生涯学習事業が充実していればと思います。（田村）
- 料理教室の開催。大雄でとれる野菜などの活用方法。（田村）

【地場産業づくり】

- 地ビールの醸造（阿気）
- 全国的に知られているホップのように大雄独自の枝豆を活用した事業できたらどうでしょうか。（阿気）

【買い物施設】

- 飲食店、大型ショッピングセンターを作してほしい（田根森）
- 若者が集まる大型ショッピングセンター等を作してほしい（田根森）

【その他】

- 二世代、三世代が生活している家庭では、どのようなことに気を付けてどんな気配りをしているか事例を教えて欲しい。（田根森）
- 地域代表者による市政への提言や要望等を話し合いする組織づくり。「大雄の地域づくり」は地域住民が話し合って市に対して提言したり要望する必要があると思う。（田根森）
- 必要ですかそもそも（阿気）
- 新しくつくる「地区交流センター」で問3のようなことをやるのでしょうか、生涯学習にプラスしてとの考え方ですか。（阿気）
- 人口減少により人材不足ですが、地区交流センターをよりよく活用できるよう望みます（田村）
- 高齢になり免許を返納したらすごく大変です。買い物や病院に行く足がない。横手市内はバスもあるが新町地区はなにもない。お願いいたします。乗合タクシーがあればすごく助かります。（田村）

3. キャッチフレーズについて

これまでの検討の中で出されたキャッチフレーズ案から、良いと思うものを選んでもらった。

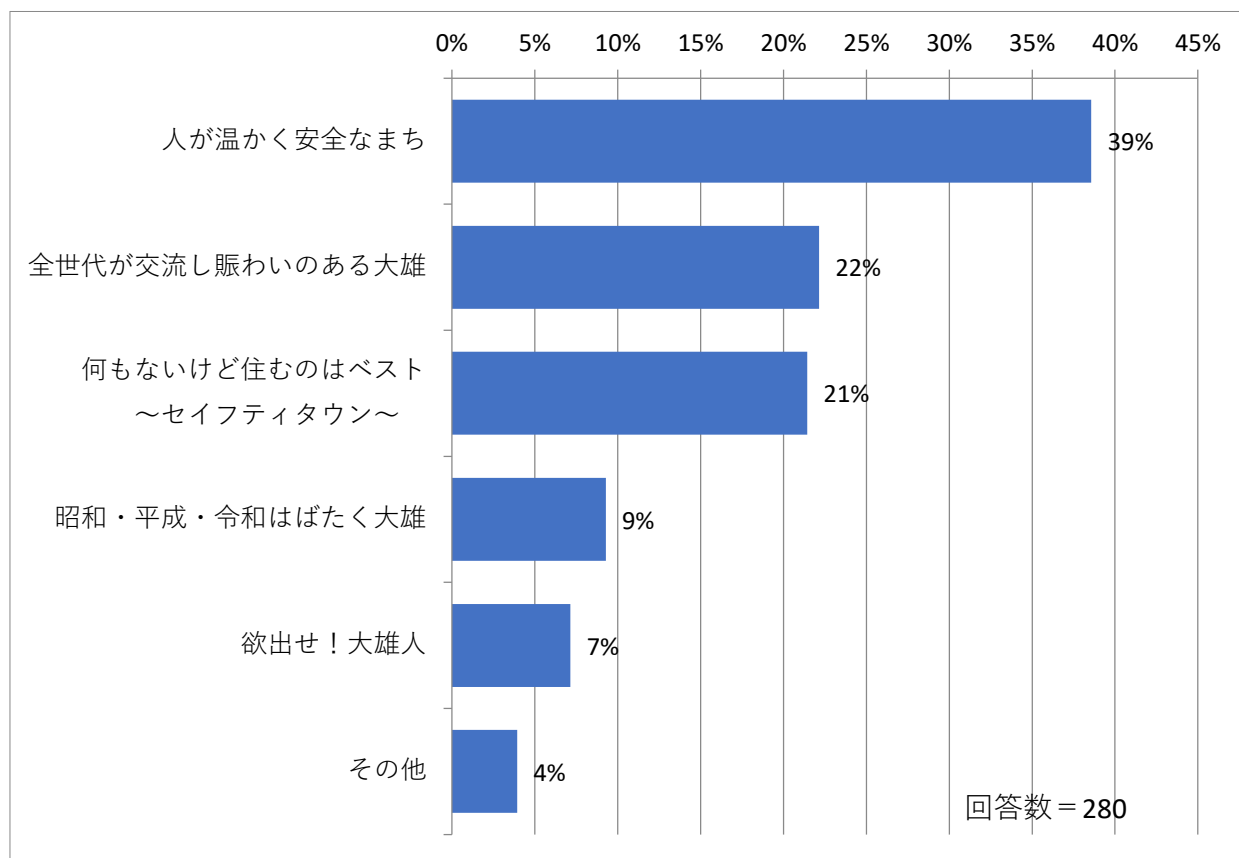


図 キャッチフレーズについて

(その他の意見)

- ホップステップ大ジャンプ
- ゆったりゆったり大雄
- こころつながり住むのはベスト~セイフティタウン~
- 人よし住よし大雄
- 声かけて支え合う我が大雄
- いつまでもあたたかく暮らしていき大雄
- ここが本当の古里大雄
- 令和羽ばたく大雄
- 未来志向の街、大雄！
- ありのままそのまゝの大雄
- ホップの花薫る郷

4. 将来までも安心して住みつづけられる大雄地域であるために（自由意見）

*出された意見を分類整理して掲載

【高齢になっても安心して暮らせる環境づくり】

- 空き家の利用。大雄にも年金で入れるグループホームのような施設を作ってほしい。（田根森）
- 交流センターの周りに住む場所を作ってもらいたい。雪下ろしのいない、寒くない住居。安価とまではいなくても市営住宅のように人が集まって住んでいれば安否確認はもちろんいろんなサービスを行き届かせられ、安心して暮らせる地域になると思う。（田根森）
- 冬になると雪のため、陸の孤島となり車が買えられなくなりそうで、除雪を1日1回でなく冬の様子を見て出して欲しい。（田根森）
- 高齢者世帯（1～2人暮らし）の方に、安心安全に暮らしていける事業。買い物、受診、見守り、ゴミ捨てなど。（田根森）
- 健康で長生きできるよう、スポーツジムのようなトレーニングできる施設・設備があれば良いと思います。（田根森）
- ポジティブなキャンペーン、温かさを謳ったもの。困ってる人への助け合い。今で言えばコロナの状況を皆で乗り越えられるような情報提供など（前だったらマスクの作り方、今なら簡単にできる要望策、大雄のテイクアウトなど、ネットを使えない車がないお年寄りに紙を配布したり、昔よくあった移動販売など家にいながら助かることなど）（田根森）
- 地域活動に参加どころかされる側です。一人世帯がいつでも安心して暮らせるよう、災害時の対応、地域の取組みをしっかりといただくことをお願いします。（阿気）
- 共助組織の活動支援（田村）

【公共交通や移動支援の充実】

- 高齢化に伴い交通の不便さが気にかかります。定住者を増やすためにも交通の不便解消は必要ではないでしょうか。（阿気）
- 大雄のバスまたはゆとりおんバスを利用して8:00 発横手行きや横手発 12:00 大雄行きが将来あればよいと思う。デマンドタクシーではなくゆとりおんバスのように迎えに来るもの。（阿気）
- 現在は、高齢者も自動車の運転ができ生活には困らないが、10年後には運転できなくなる人が多くなると思う。その時に、買い物や通院などが非常に不安である。その時の対策を。（阿気）

【人口減少対策、移住定住促進、子育て支援】

- 人口減少の歯止めとなるような色々な対策案や活動、事業が必要かと思います。（田根森）
- スクールバスの活用を。全地域で中学生の送迎が難しい家庭が多く子供が減少する原因の一つでもあるので。（田根森）
- 限界集落にならないためにも子供や親がスポーツの大会練習に使用する場所がもっとあったらよい。（田根森）
- もっと子供たちの遊び場が欲しい、あちこちに小さな公園らしきものはあるが遊具がないので遊具増やして！（阿気）
- 大雄は自然災害も少なく、犯罪もなく住みやすいところで良いと思っていますが、若い人達が少な

くて残念。早朝と夕食時に悪臭がして住めないと若い人に言われることも残念。(田根森)

- 農地、家の貸出、売渡（後継者不在）、農機具シェア、貸出（田根森）
- 何もないけど住むのはベスト、これだけをアピールしたらいいんじゃないですか。あまり色々やらずに。(阿気)
- 土地を造設して住宅地をつくり、若い人達に家を建ててもらうことで地域住民が増える（阿気）
- 若い世代が少ないので、帰ってきてても働く場所がなく、夜はすぐに暗くなる。(営業しているのはコンビニだけ)「やるじゃん大雄」的な設備が欲しい。(田村)

【生活環境の改善、自然環境の保全】

- 地域活動の前に何年も解決していない糞尿問題を解決してもらえると住みよい大雄で住み続けられると思います。子供も孫も臭いからいやだといっています。(田根森) ※同様の意見このほか2件
- 環境をよくする活動（田根森）
- 人間が住む場所としては異常なほど自然が失われています。朱鷺やコウノトリの保護活動をしている地域に学んで、自然を売りにする活動を望みます。(阿気)
- ごみのポイ捨てが多い（阿気）
- 春と秋のクリーンアップ活動は大人も子供も集まれるので良いと思います。(田村)

【生涯学習の充実】

- 軽スポーツや各種講座など生涯学習活動を主に行って欲しい。男の料理教室。(田根森)
- 腰が曲がり始めた私どもでも気軽に参加できる企画があれば出かけてみたい。(田根森)
- 生涯学習事業の充実（田根森）
- なかなか新しい活動は難しいのですが、昔からの神社や寺などのルーツなど、調査するのも面白いと思います。大雄の成立調査等もあわせて研究できたらどうかな。(阿気)
- 高齢2人、元気でくらすために皆の仲間です。いつまでもと思っています。体力が続く限りスポーツやりたいです。(阿気)
- 伝承文化を継承し世代間交流の活性化を図る事業（阿気）
- 健康講座や実践（阿気）

【町内巡るツアー、おでかけツアーあったらいいな】

- 大雄に住んでいても知らない施設とかもあるので、月に一度や年に数回でも良いので、スクールバスもしくは小型のバスを利用して町内を巡るツアーがあったら参加してみたい。(田根森)
- 隣どうしの交流はほとんどないのでコミュニケーションがもう少し活発にとれるような事業を企画してほしい。(田根森)
- 視野を広げるための旅行クラブなど、又は、大雄巡りバスツアーなどがあれば、参加してみたい。(田根森)
- 高齢化の時代となり免許返納者が多くなって移動が難しくなった時、団体で出かけられるような行事があれば楽しみが増える。(阿気)

【センターの周知、対話や話し合いの継続と充実】

- 交流センター、センター長が地区の行事にどんどん顔出ししてほしい。センターの存在を住民に知らしめてほしい。それからでしょう。(田根森)
- 地区交流センターの考え方がわからない。旧横手市のように広い地域であればまだしも大雄のような狭い地域で地域局があるのに、その上交流センターが必要だろうか。それとも地域局廃止の考え方が根底にあるのか。また住民主体というがその事業のために自分の時間をさける住民がどれくらいいるのか疑問だ。結局自主活動とNPO法人を立ち上げて運営する方法もあるが受ける人がいるかな。(阿気)
- 地域活動に関心のある人が少ない。市が進めようとしている交流センター事業が市民に理解されていない(阿気)
- 行事は人がいないとできないものが多いが、やめると再開は難しいので、続ける努力が必要。(阿気)
- 気合を入れて最後まで皆で協力して互いにやる(阿気)
- いかに大雄を活性化するかを若い人達に考えてもらいたい。(田村)

【行政や関係機関との連携】

- 高齢化が進むにつれて行政の協力も離れて行っている気がする。逆に支援して欲しい。(田根森)

【カフェ】

- 昔お店だったところをカフェにしてほしい。(田根森地区のバス通りなら交通の便も良い) 福祉センターにいかなくてもいい。JAの直売所のような小さな直売所がほしい。冬は天候が心配(田根森)
- 図書室をもっと利用したいが、現在の場所は何となく気軽に行きづらいので交流センターにある方が行きやすいかも(阿気)
- 気軽に入って一休みできる様な場所があれば良いと思う。(田村)
- 利用しやすい図書館とカフェスペースのようなものがあれば人が集まりやすいと思います。高齢化が進んでいく中で、買い物や通院支援雪下ろし支援ができれば安心なまちにつながるのでは。(田村)

【集落活動の活性化】

- 地区交流センターの事業の主なものに「地域づくり」「地域自主活動」がある。このことを具体化する方策は…？質問2～3の事業は「生涯学習」の例ばかりです。(田根森)
- 集落ごとの活気から(田根森)

【その他】

- 田根森地区運動広場の大雄グラウンドゴルフ場の整備管理と休憩場所の設置(田根森)
- 地域づくり予算枠が確保できますか。コロナ感染拡大でどういう地域づくりをするか駅前開発事業でのにぎわいづくりを含め、考え方を変えていくべきと思う(阿気)
- コロナ感染が拡大しているこの時期、やりたいこととやれることは必ずしも一致しないと思う。考え方を換え、何をすれば何をやめれば将来につながるのかよく考えるべきと思う。(阿気)

- それぞれの団体が共助の形で何かをやろうとするのは無理だと思うし、意味がどこにあるのかもわからない。(田村)
- ライフラインの共有事業があった方が良くと思います。(田村)